

第29回 OZAK 会学術集会

第29回 OZAK 会学術集会が、2023年10月15日、東都大学幕張キャンパスにて開催されました。

OZAK 会は当法人グループの総称で、OZAK 会学術集会は関連施設の医師、看護師、薬剤師等、さまざまな職種のスタッフが集まり、主に日頃の臨床をテーマにした研究を発表する会です。

今回は東和病院の中村 耕三院長が実行委員長となり、「明日の地域医療に向かって」というテーマのもと、2 題の基調講演、4題のシンポジウム、55 題の一般演題、1 題の教育演題、1 題のランチョンセミナーが開催されました。当院からも、新型コロナウイルス感染症について発表しました。

コロナ禍で今回は 4 年ぶりの対面での開催でした。医療はそれぞれの分野における協力、チームワークが重要です。対面で様々な職種からの発表を聞き、交流することができ、多職種連携がより深くなり、今後のより良い医療の提供に役立ったのではないかと思います。500 名を超える方にご参加頂き、盛況のうちに閉会となりました。

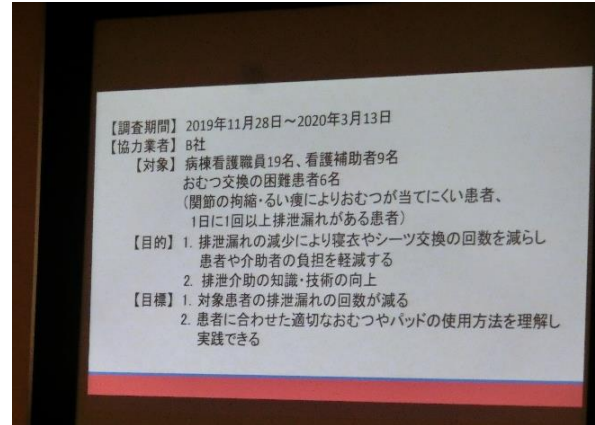
【当日の様子】



↑ 開会のあいさつ(中村耕三実行委員会)



↑ 1,000 人収容できる大ホール(第 1 会場)での発表の様子。



↑ 第 2 会場での発表の様子。



↑ 第 3 会場、第 4 会場での発表の様子。



←
シンポジウム
「人生 100 年時代」を看護師としてどう
過ごすかをテーマにしたシンポジウム
でした。



←
閉会のあいさつは大坪由里子先生
(三軒茶屋病院院長)



←
学術集会のあとは懇親会。
川崎看護局長のあいさつで開宴！



↑ 永年勤続表彰の様子。勤続 50 年を筆頭に、30 年、20 年。この場に参加できなかった
↓ 方々を含めて 70 名の方が表彰を受けました。

